

## 1 研究の概要

### (1) 研究主題

読むことの領域における思考力の高まりを目指した英語学習の在り方  
—読みのプロセスを踏まえた言語活動を通して—

### (2) 中学校英語科の課題

佐賀県小・中学校学習状況調査及び自作問題の結果を分析したところ、「読むこと」の領域に関する次のような課題が見えてきました。

- ・対話文の文脈、物語のあらすじ及び説明文の大切な部分などを正確に読み取ること（外国語理解の能力）
- ・話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり、賛否やその理由を示したりすることができるよう、書かれた内容や考え方などを捉えること（外国語理解の能力）

### (3) 課題の解決に向けて生徒に必要な力

課題の解決に向けて、生徒が身に付けるべき力を次のように整理しました。

- ・一語一語の意味や一文一文の解釈など、内容の特定部分にのみとらわれたりすることなく、書き手の伝えようとすることを正確に読み取る力（外国語理解の能力）
- ・対話文や物語文では、どんな登場人物がいるのか、主人公は誰か、話がどのように展開していくのかなど、大まかな流れをつかみながら読み取る力（外国語理解の能力）
- ・説明文では、特に中心となる事柄など大切な部分を捉えて的確に読み取る力（外国語理解の能力）
- ・読んだ後に感想や意見、賛否、また、その理由を示すことを念頭に置いて、話の内容や書き手の意見などを批判的に捉える力（外国語理解の能力）
- ・英文を「読むこと」を通して得た知識等について、自らの体験や考えなどに照らして「話すこと」や「書くこと」に結び付けるために、単に内容を理解するだけでなく、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解していく力（外国語理解の能力）

### (4) 研究のねらい

読みのプロセスを踏まえた言語活動を通して、読むことの領域における思考力の高まりを目指した英語学習指導の在り方を探る。

### (5) 研究の方法と内容

- ① 佐賀県小・中学校学習状況調査の結果について、過去の報告書に示されている課題を基に、英語科の学力の現状を考察します。
- ② 課題の解決に向け、読みのプロセスの段階に応じた発問構成の有効性及び発問と組み合わせる手立ての有効性についての理論研究を行います。
- ③ ①から見えてきた課題を解決する授業改善として検証授業を行い、その効果を検証します。その際、公開授業を行い、広い見地から研究の妥当性を協議することで研究の充実を図ります。
- ④ 1学期の観点別評価における外国語理解の能力を基にA群、B群、C群に分け、表現活動に見られる読みの深まりを検証します。